

平成 26 年度「英語能力判定テスト」における 新箕中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、教育振興基本計画*に基づき、英語イノベーション事業*の一環として、「英語能力判定テスト」を実施いたしました。このテストの目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、学校における英語の指導の改善を図ることにあります。

学習指導要領における中学校英語の目標は、4 技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を総合的に活用できるコミュニケーション能力の育成と示されております。本テストで測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目 的
 - (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
 - (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対 象 大阪市立中学校 全生徒

3 実 施 日 ・ 3 年 生 平成 2 6 年 1 0 月 3 1 日（金）
 ・ 2 年 生 平成 2 7 年 2 月 3 日（火）
 ・ 1 年 生 平成 2 7 年 2 月 6 日（金）

4 内 容

学年	テストの種類	テストの難易度	テスト内容		満点 スコア
			筆記問題	リスニング問題	
3 年	テストD	英検 3～5 級レベル	50 題	30 題	460 点
2 年	テストE	英検 4～5 級レベル	40 題	25 題	400 点
1 年	テストF	英検 5 級レベル	25 題	25 題	340 点

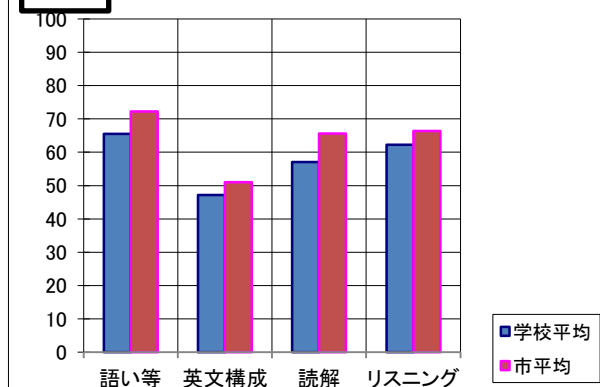
*教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

*英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

「英語能力判定テスト」結果の概要と今後の取組 新異中学校

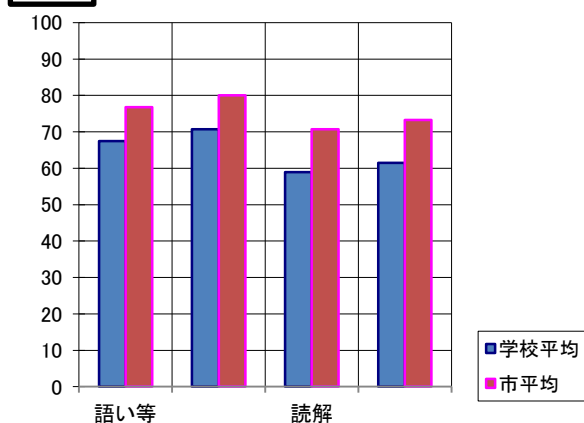
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	65.5	47.2	57.1	62.3
市平均	72.2	51	65.6	66.4

3年



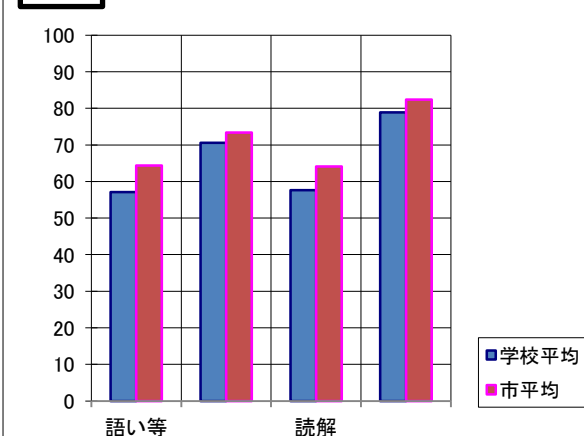
2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	67.5	70.7	58.9	61.5
市平均	76.8	80	70.7	73.3

2年



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	57.1	70.6	57.6	78.9
市平均	64.4	73.4	64.1	82.4

1年



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年

英検3～5級レベル:スコア 0～460点

《結果の概要》

全ての項目で大阪市の平均には至らなかったが、「英文構成」・「リスニング」に関しては、市の平均に近い正答率であった。「読解」に課題がある結果となった。

《結果をふまえた今後の取組》

「英文構成」はある程度結果が出ているので、長文の読解問題などを継続して取り組み、「読解力」の向上につなげる。また、「リスニング」に関しても、市の平均には達していないので、授業内での積極的な英

2年

英検4～5級レベル:スコア 0～400点

《結果の概要》

全項目で大阪市の平均には至らなかったが、「英文構成」の項目については、市平均に近い正答率であった。

また、英検4級レベルに達している生徒の割合が21%、5級レベルに達していない生徒は16%と差があるため、今後も継続して、発展の内容と基礎・基本の定着を図る。

《結果をふまえた今後の取組》

「英文構成」は正答率が高かったなので、長文読解を継続して取り組み、「英文構成・読解」

1年

英検5級レベル:スコア 0～340点

《結果の概要》

全ての分野について、大阪市の平均を下回った。「英文構成」・「リスニング」については、大阪市の平均に近い正答率であった。「語い等」・「読解」については、正答率が6割を切っているので、指導の充実を図る。

《結果をふまえた今後の取組》

「語い力」に課題があるので、小テストの機会を増やしたり絵や写真等の視覚的な教材を用いたりすることによって定着を図る。また、授業内で英語の使用を積極的に